

## TITLE

# 工房と店舗を掛け合わせたお店 ステュディオップ STUDIOP = STUDIO × SHOP

## CONCEPT

### 商品の大切さを改めて考えなおす

- ・気候変動やコロナ禍などによる社会状況の変化により、サプライチェーンの現状維持は難しくなる。
- ・資源確保が困難になり、今までの価格帯で商品を買うことができなくなる可能性があり、商品を大切にすることを改めて考え直す必要がある。
- ・商品を製造、修理する工房と店舗を掛け合わせることで「売って終わり」「買って捨てる」のサイクルを変えていく。
- ・工房では商品の修理、不要になった商品のアップサイクル商品を制作する。
- ・工房が店舗にあることで資源、商品を大切に扱っている取り組みを、来店したお客様に工場見学の様に体験していただき、その体験はSNS等を利用したブランドイメージの拡散に結びつく。
- ・リアル店舗はお客様と接点を持ちブランドが発信するイメージを体感する空間です。資源の大切さを改めて考えることで、ブランドには「誇り」お客様には「商品を大事にする」という気持ちが生まれ、相互にワクワクする店舗を構築することにつながる。

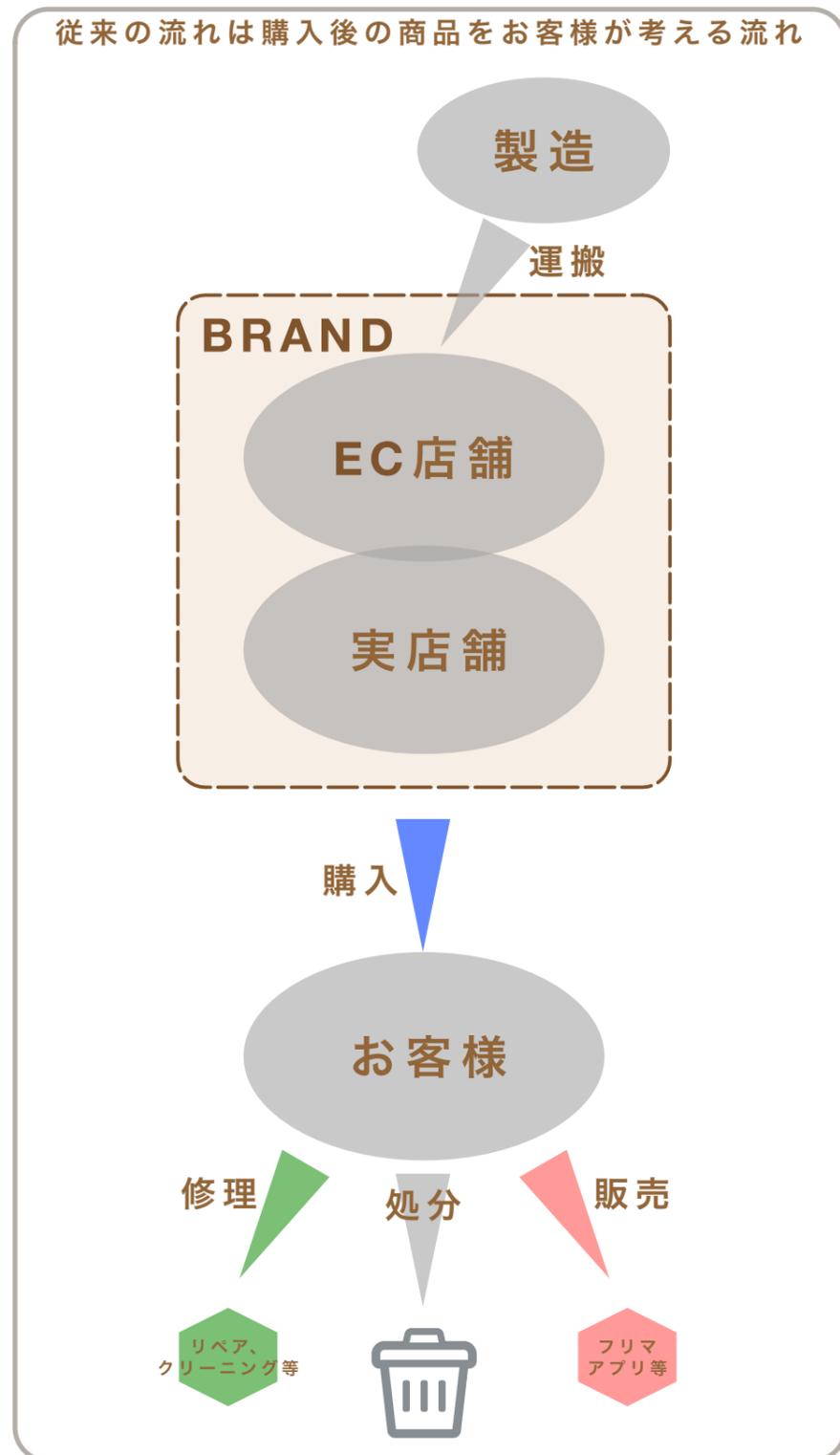
## STUDIO 工房



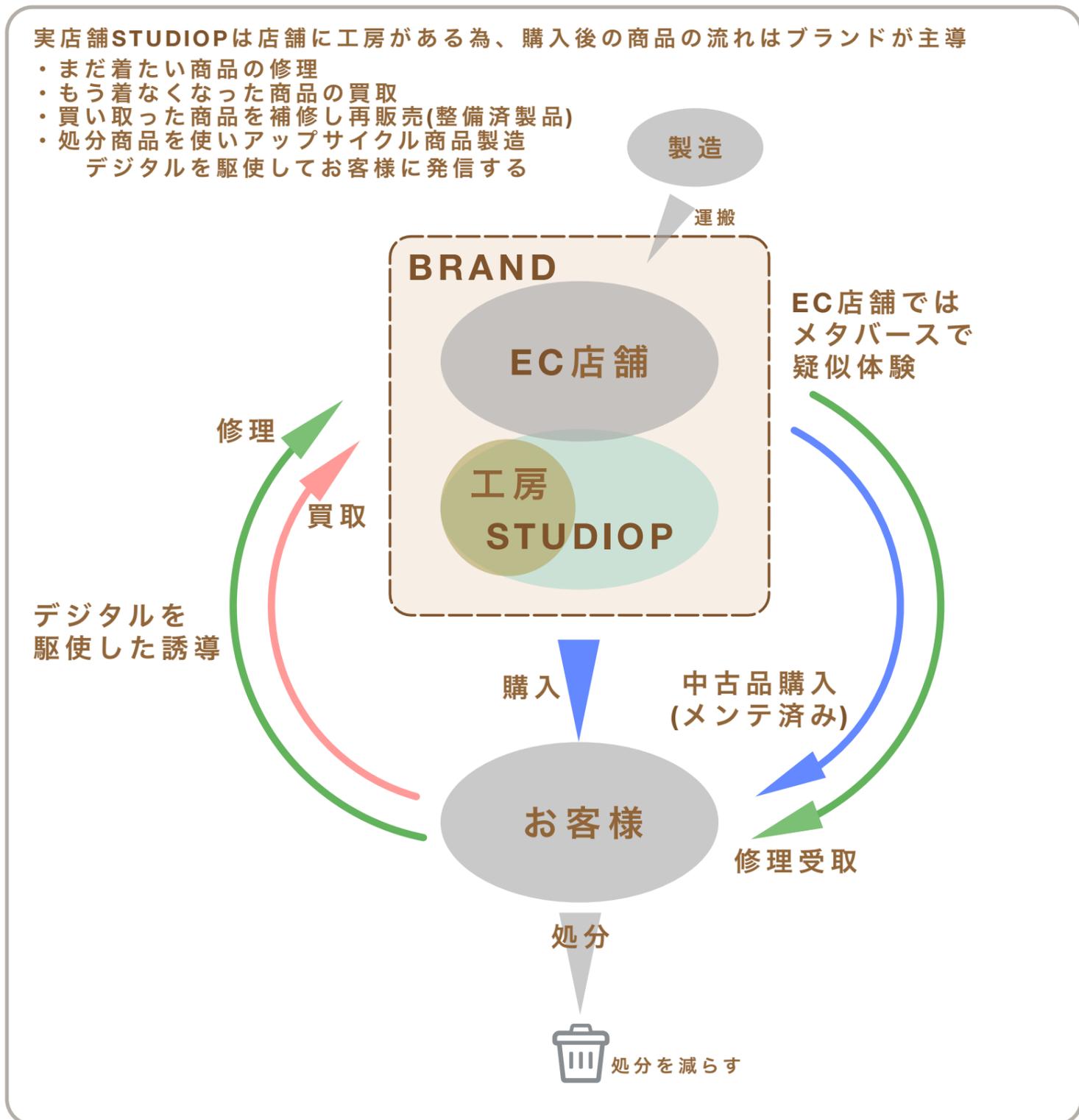
## SHOP 店舗



PRODUCT FLOW



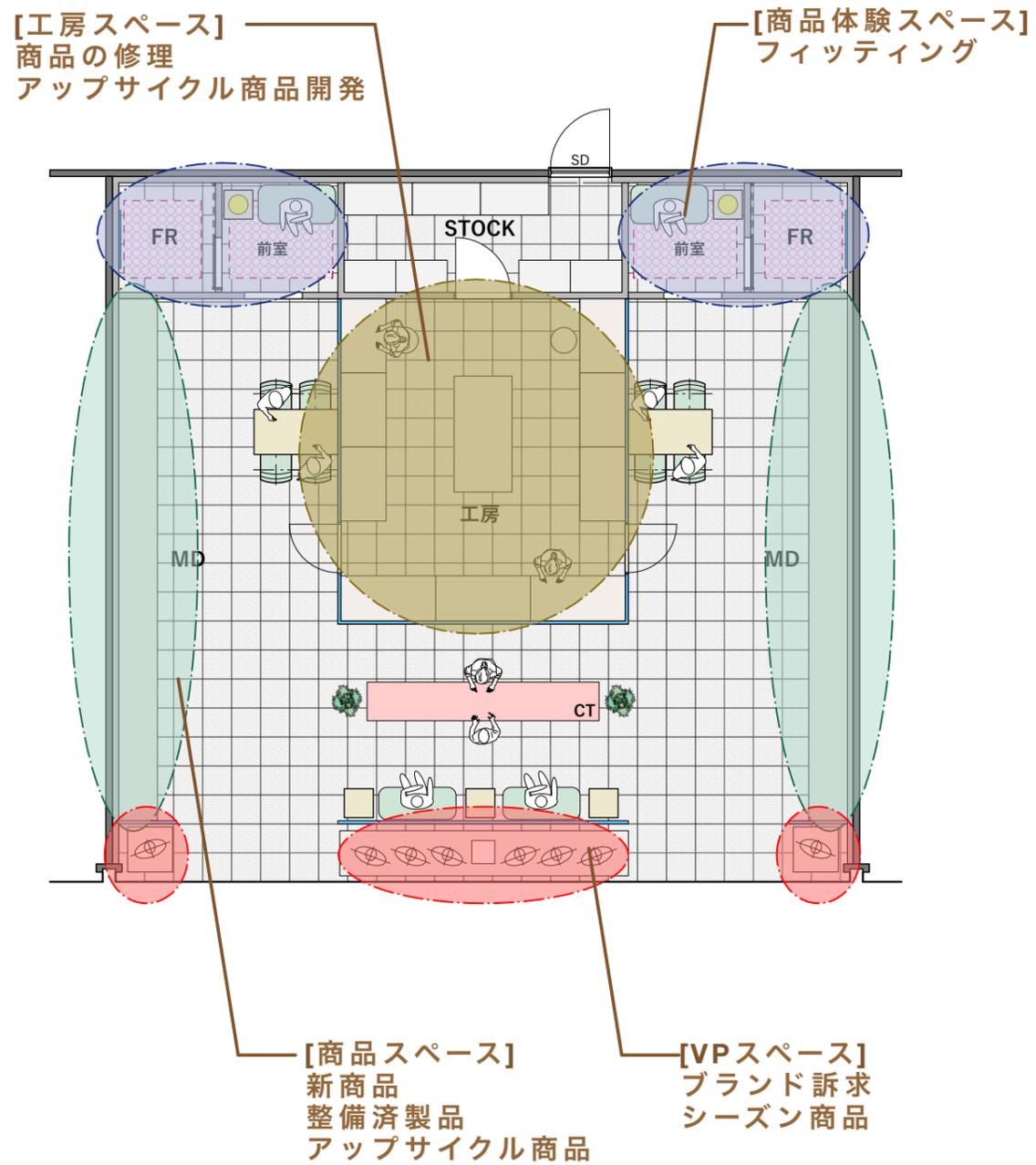
店舗に商品を売る+aが乏しい為足を運びにくい



店舗に商品を売る+工房(+a)があると、商品を大事に扱っている事や工房の風景が見え工場見学の様な知る楽しみが得られ来店機会が上がる

# IMAGE PLAN

## ZONING



## VOLUME SKETCH

